

〈参考資料 2〉
ごみ処理の状況

参考資料 2 ごみ処理の状況

1 ごみ量の推移

(1)ごみの分類

ごみの分類は、表 1 のとおりとなっている。平成24年3月から、燃やせないごみとして処理していた靴・かばん・ベルト及び、燃やせるごみとして処理していたぬいぐるみ・肌着等を資源として収集を開始し、ごみ減量とリサイクルの推進に取り組んできた。

表1 ごみ・資源の分類と処理体制（平成25年4月現在）

区 分 種 類	収集運搬		中 間 処 理	最 終 処 分
	回数	収集方式		
燃やせるごみ	週 2 回	集積所	小平・村山・大和衛生組合	東京たま広域資源循環組合・日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場
燃やせないごみ	4 週 1 回	集積所	小平・村山・大和衛生組合	東京たま広域資源循環組合・日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場
びん・有害物	2 週 1 回	集積所	武蔵村山資源リサイクルセンター	民間業者において資源化処理
缶・金属	2 週 1 回	集積所	武蔵村山資源リサイクルセンター	民間業者において資源化処理
プラスチック・ペットボトル	4 週 3 回	集積所	武蔵村山資源リサイクルセンター	民間業者において資源化処理
古紙(新聞・雑誌・段ボール・雑紙・牛乳パック)・布	週 1 回	集積所	民間業者に直接搬入し、再生利用	
剪定枝	週 1 回	集積所	民間業者に直接搬入し、再生利用	
靴・かばん・ベルト・ぬいぐるみ	週 1 回	集積所	民間業者に直接搬入し、再使用	
粗大ごみ	随時	戸別	小平・村山・大和衛生組合、その他	東京たま広域資源循環組合・日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場、その他

(2)ごみ収集地域別 4 収集日程

本市では、ごみ収集地域を4コースに区分けして、表2のとおり収集地域別に分別収集を行っている。

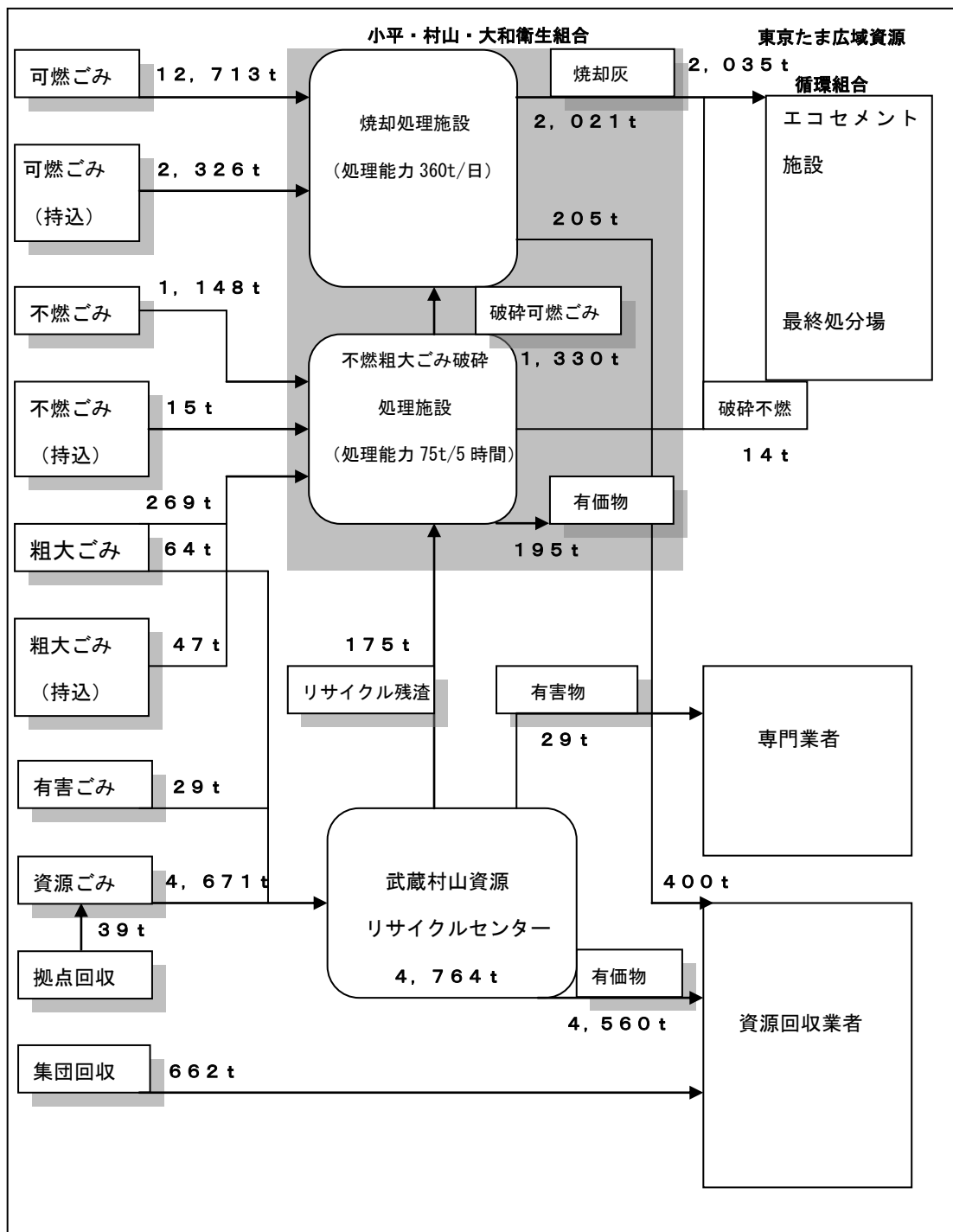
表2 ごみ収集地区割表（平成25年4月現在）

収集地域	燃やせるごみ	燃やせないごみ	プラスチック・ペットボトル	缶、金属類	びん、有害物（電池・電球・蛍光管・体温計）	古紙（新聞・雑誌・段ボール・雑紙）、布、剪定枝・靴・かばん・ベルト・ぬいぐるみ
伊奈平、残堀、三ツ藤1・2丁目、緑が丘33～41号棟、45～97号棟・1119～1123号棟	火曜日 金曜日	月曜日 （4週に1回）	月曜日 （4週に3回）	木曜日 （隔週）	木曜日 （隔週）	水曜日
三ツ木、中原、岸、三ツ藤3丁目、大南4・5丁目	火曜日 金曜日	木曜日 （4週に1回）	木曜日 （4週に3回）	月曜日 （隔週）	月曜日 （隔週）	水曜日
本町、中藤、中央、神明、学園3丁目	月曜日 木曜日	金曜日 （4週に1回）	金曜日 （4週に3回）	火曜日 （隔週）	火曜日 （隔週）	水曜日
大南1・2・3丁目、学園1・2・4・5丁目、榎、緑が丘6～32号棟、42～44号棟、1101～1118号棟	月曜日 木曜日	火曜日 （4週に1回）	火曜日 （4週に3回）	金曜日 （隔週）	金曜日 （隔週）	水曜日

※粗大ごみについては、申込により戸別に随時収集を行っている。

(3)ごみ処理の流れ

本市のごみは、図1の流れで処理をしている。



* 平成24年度武蔵村山市ごみ処理の流れ

(4)ごみ排出量の推移等

本市のごみ総排出量は、表3のように推移している。

表3 ごみ排出量及び原単位の推移

(単位:t)

年 度		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
収集 ごみ (t)	可 燃	13,150	12,739	12,793	12,657	12,671	12,515	12,713
	不 燃	1,283	1,053	1,073	1,025	1,072	1,091	1,148
	不 燃 性 資 源	1,958	2,021	2,013	2,045	1,883	1,841	1,888
	可 燃 性 資 源	3,459	2,967	2,678	2,451	2,625	2,615	2,783
	粗 大	226	198	219	203	223	253	269
	鉄 製	102	92	85	70	67	70	64
	バ イ ク	2	2	2	1	0	0	0
	有 害	30	32	29	30	29	32	29
	計	20,210	19,104	18,892	18,482	18,570	18,417	18,894
持込 ごみ (t)	可 燃	2,070	2,030	1,920	1,731	1,731	1,967	2,326
	不 燃	14	15	10	12	13	14	15
	粗 大	49	50	40	49	72	42	47
	計	2,133	2,095	1,970	1,792	1,816	2,023	2,388
拠 点 回 収 注1)		(54)	(61)	(62)	(65)	(61)	(68)	(39)
集 団 回 収 注2)		884	841	803	822	763	704	662
総 排 出 量		23,227	22,040	21,665	21,096	21,149	21,144	21,944
人 口		68,808	69,830	70,802	71,358	71,625	71,896	71,975
排 出 物 原 単 位 注3)		925	862	838	810	809	804	835
収 集 ご み 量 原 単 位 注4)		805	747	731	710	710	700	719

注1) 拠点回収分()は内数である。

注2) 総排出量 = 収集ごみ量 + 持込ごみ量 + 集団回収量

注3) 排出物原単位 = 総排出量 ÷ 年度末人口 ÷ 年間日数 (単位:g/人・日)

注4) 収集ごみ量原単位 = 収集ごみ量 ÷ 年度末人口 ÷ 年間日数 (単位:g/人・日)

図2 総ごみ排出量、収集ごみ量の推移

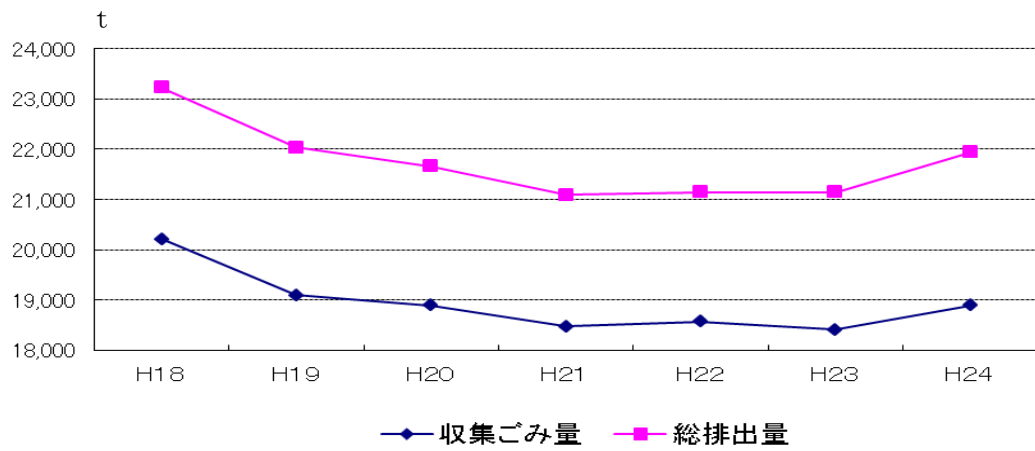


図3 持込ごみ、拠点回収、集団回収量の推移

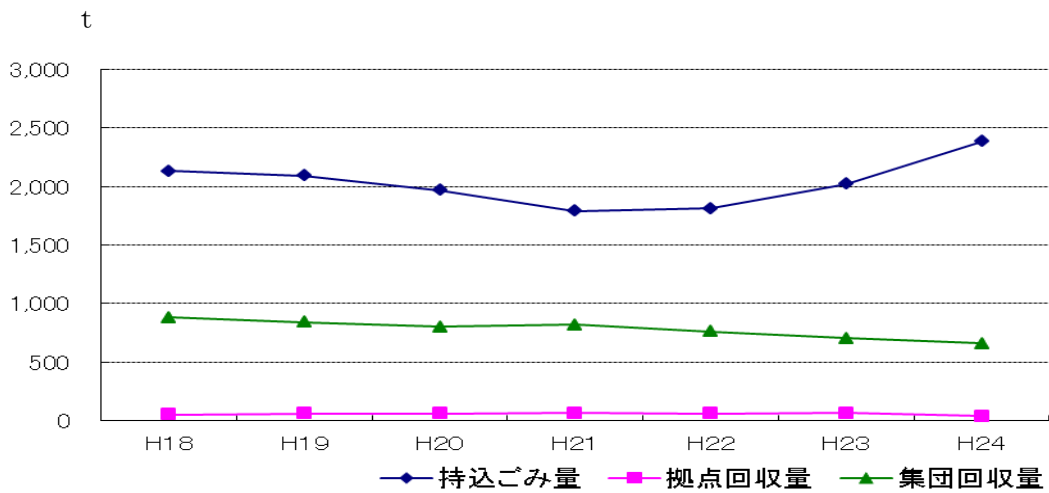
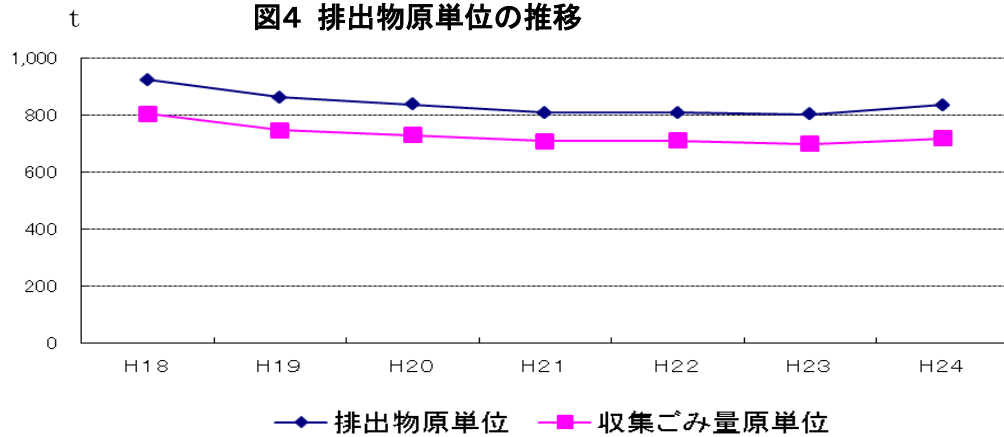


図4 排出物原単位の推移



(5)リサイクル率及び最終処分量の推移

本市のリサイクル率及び最終処分量は、表4のように推移している。

リサイクル率はほぼ横ばいであり、不燃ごみ埋立て量については、わずかであるが減少傾向である。

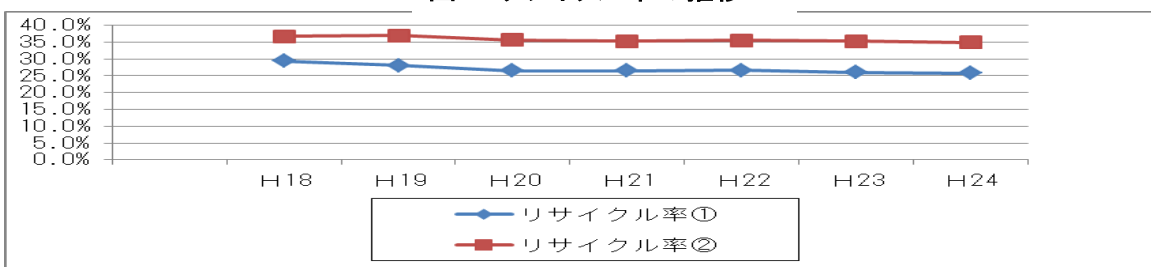
表4 リサイクル率、最終処分量の推移

(単位:t)

年 度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
総 排 出 量	23,227	22,040	21,665	21,096	21,149	21,144	21,944	
資 源 物	紙 類	3,674	3,225	2,974	2,841	2,936	2,886	3,019
	鉄 類	832	721	656	618	621	605	596
	ア ル ミ 類	140	140	140	143	147	141	145
	び ん 類	555	541	517	516	521	483	506
	布 類	520	445	371	298	317	319	323
	ペットボトル	193	198	211	190	236	199	209
	プラスチック類	731	734	711	822	681	706	699
	剪 定 枝	125	117	118	111	114	103	83
	バ イ ク	2	2	2	1	0	0	0
	そ の 他	27	23	21	28	32	32	42
有 害 物	30	32	29	30	29	32	29	
総資源化量①	6,829	6,178	5,750	5,598	5,634	5,506	5,651	
総資源化量②	8,536	8,133	7,708	7,433	7,499	7,466	7,672	
リサイクル率①	29.4%	28.0%	26.5%	26.5%	26.6%	26.0%	25.8%	
リサイクル率②	36.8%	36.9%	35.6%	35.2%	35.5%	35.3%	35.0%	
最終処分量①	2,051	1,997	1,975	1,853	1,881	1,975	2,035	
最終処分量②	344	42	17	18	16	15	14	

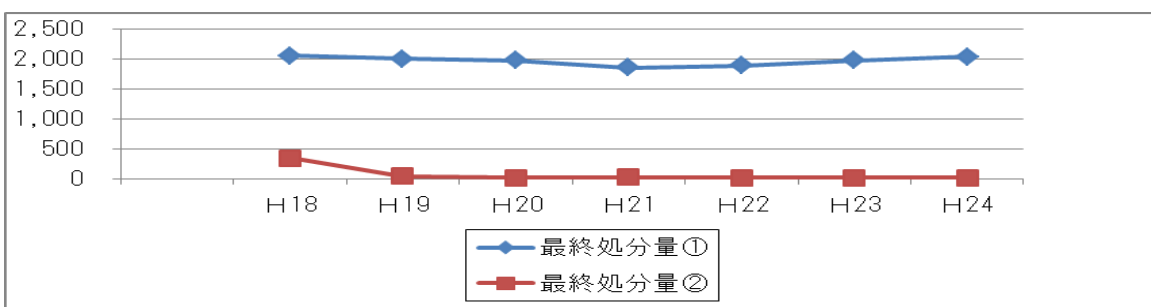
* 総資源化量①、リサイクル率①はエコセメントは含まず、総資源化量②、リサイクル率②はエコセメントを含む。
* 最終処分量①は不燃ごみ埋立て量に焼却灰の量を加えた数値であり、最終処分量②は焼却灰をエコセメントとして、リサイクルしているため、焼却灰の量を除き、不燃ごみ埋立て量のみとしている。

図5 リサイクル率の推移



t

図6 最終処分量の推移



2 ごみ減量及び資源化施策の状況

(1) 資源回収奨励金交付制度(集団回収事業)

本市では、昭和62年度から廃棄物の発生抑制及び資源物の再利用の推進を図るため、資源回収奨励金交付制度(古紙類)を実施しており、順次、奨励金交付対象品目を増やしてきた。

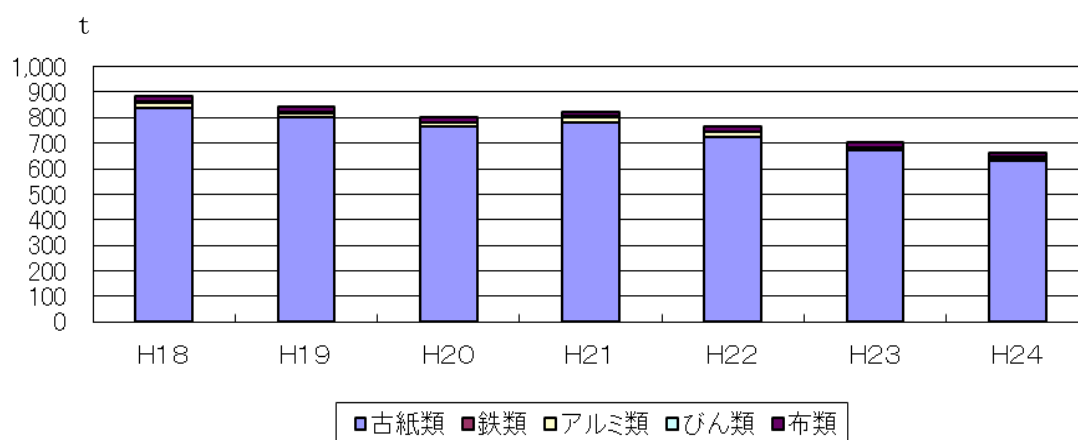
現在、古紙類、鉄類、アルミ類、びん類、布類、ペットボトル、廃食用油及び雑品類の8品目を対象としており、平成24年度の集団回収登録団体は55団体であり、回収量は662tで回収量に応じて奨励金を交付している。

表5 集団回収量等の推移

(単位:t)

年 度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
古 紙 類	837	800	764	780	724	673	630
鉄 類	1	1	1	2	1	1	2
アルミ類	19	16	15	18	18	8	10
び ん 類	5	5	3	4	3	3	3
布 類	22	19	20	18	17	19	17
合 計	884	841	803	822	763	704	662
団 体 数	51	52	53	55	57	55	55
件 数	246	251	246	271	290	280	283

図7 集団回収量の推移



※ ペットボトル、廃食用油の回収量は少量であり、数値には未計上とした。

(2) 生ごみ処理機器購入補助制度

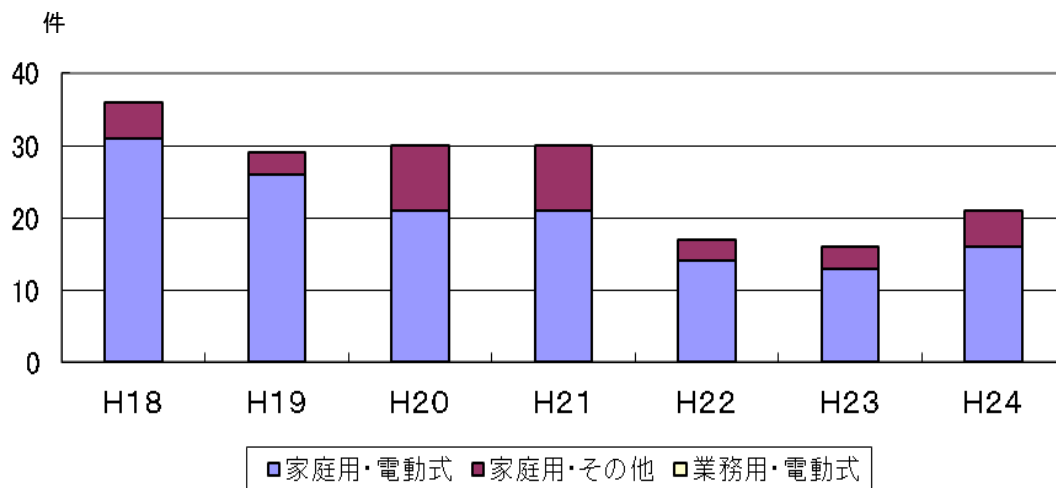
本市では、生ごみの減量化を図るため、平成4年度から生ごみ処理機器購入補助制度を実施し、生ごみ処理機器を購入した市民等に対して、補助を行っている。

補助金額は本体購入価格の2分の1で、上限は、家庭用が40,000円、業務用が300,000円である。

表6 生ごみ処理機器補助実績

年 度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
家庭用・電動式 (件)	31	26	21	21	14	13	16
家庭用・その他 (件)	5	3	9	9	3	3	5
業務用・電動式 (件)	0	0	0	0	0	0	0
補 助 金 額 (円)	787,900	667,300	563,000	640,200	448,200	400,200	430,200

図8 生ごみ処理機器補助実績

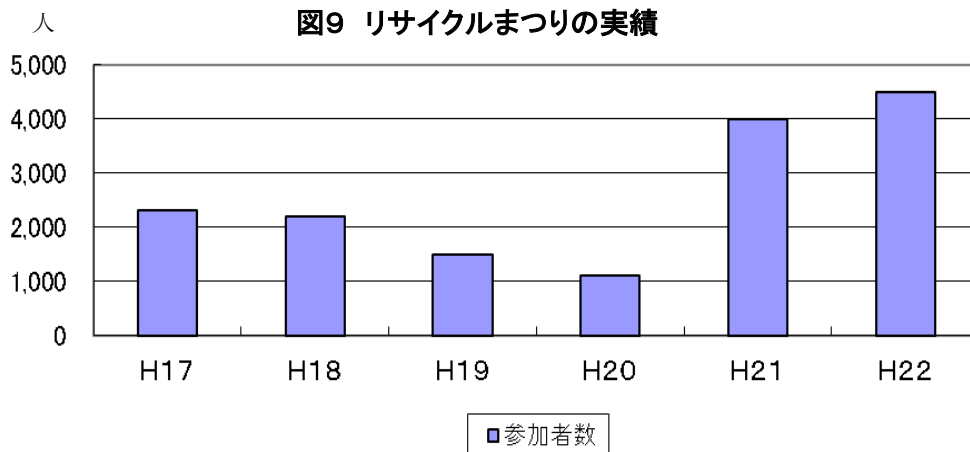


(3)リサイクルまつりの実施

市民参加型イベントを実施することにより、限りある資源の有効活用とリサイクル情報の交換の場を提供し、リサイクル意識の高揚を図るために、平成9年度から実施している。

表7 リサイクルまつりの実績

年 度	H17	H18	H19	H20	H21	H22
参加者数	2,300	2,200	1,500	1,100	4,000	4,500



※平成23年度以降は、村山デエダラまつりと同時開催で名称を環境フェスタとして実施している。

(4)その他の施策

上記以外に、平成24年度までに次の事業を実施した。

- ★ 資源物の拠点回収事業
- ★ 市内一斉クリーン作戦
- ★ ごみ処理施設見学会
- ★ ごみ情報誌の発行
- ★ 小学生用のごみ副読本の作成

3 中間処理施設の状況

(1)小平・村山・大和衛生組合

本市の可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみの中間処理は、小平市・東大和市を含め3市で構成する小平・村山・大和衛生組合にて共同で行われている。

可燃ごみは、焼却処理施設で焼却処理され、焼却灰は東京たま広域資源循環組合の二ツ塚廃棄物広域処分場に埋立処分を行っていたが、平成18年7月からは、エコセメントの原料として再利用されている。

また、不燃ごみ及び粗大ごみは、粗大ごみ処理施設で選別・破碎処理の後、有価物を取り除き、焼却できるものは焼却し、破碎不燃物は東京たま広域資源循環組合の二ツ塚廃棄物広域処分場に埋立処分をしている。

表8 小平・村山・大和衛生組合焼却処理施設の概要

区 分	内 容
施 設 名 称	小平・村山・大和衛生組合(3号炉、4・5号炉)
所 在 地	小平市中島町2番地1号
建 設 年 月 日	3号炉・昭和50年3月(竣工)4・5号炉・昭和61年11月(竣工)
炉 型 式	全連続燃焼式
処 理 方 法	ストーカ式
処 理 能 力	3号炉(150t/日) 4・5号炉(105t/日×2炉)
余 熱 利 用	足湯施設(こもれびの足湯、平成19年3月竣工)
冷 却 方 式	水噴射
通 風 方 式	強制(平衡)
除 塵 方 式	バグフィルタ
煙 突 高	3号炉(地上高59.5m) 4・5号炉(地上高100m)

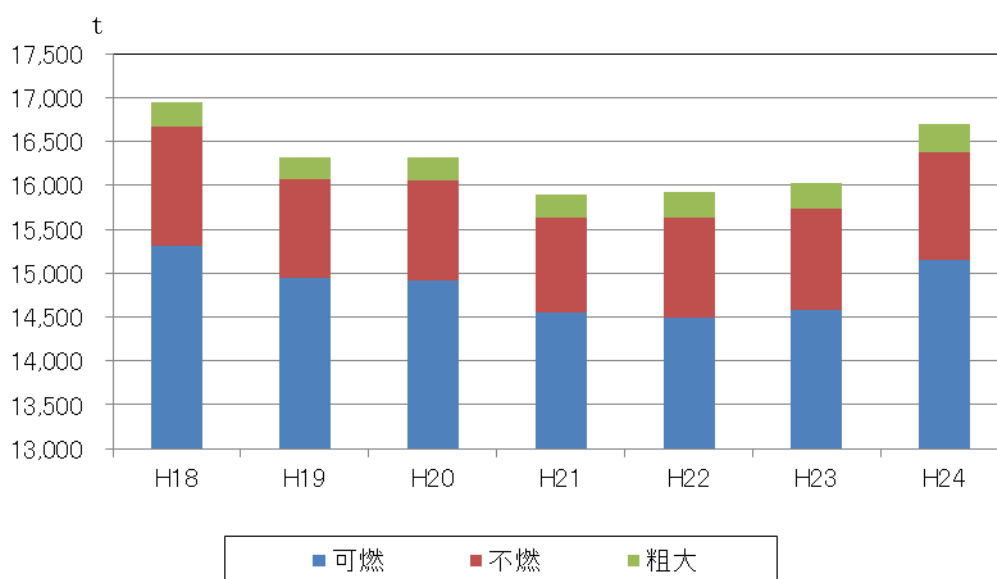
表9 小平・村山・大和衛生組合粗大ごみ処理施設の概要

区 分	内 容
施 設 名 称	小平・村山・大和衛生組合粗大ごみ処理施設
所 在 地	小平市中島町2番地1号
建 設 年 月 日	昭和50年10月(竣工)
破 碎 型 式	横型回転式破砕機
処 理 能 力	75t/5時間
処 理 対 象 物	不燃ごみ・粗大ごみ
選 別 内 容	可燃・不燃・鉄・アルミ

表10 小平・村山・大和衛生組合ごみ投入量の推移 (単位:t)

年 度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
可 燃	15,304	14,940	14,910	14,546	14,491	14,576	15,154
不 燃	1,370	1,134	1,144	1,092	1,138	1,157	1,223
粗 大	275	248	259	252	295	295	316
合 計	16,949	16,322	16,313	15,890	15,924	16,028	16,693

図10 小平・村山・大和衛生組合ごみ投入量の推移



小平市・武蔵村山市・東大和市の衛生組合投入量の推移

表 11 組織団体別の衛生組合ごみ投入量等の推移 (単位:t)

年 度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
武蔵村山市	16,948	16,322	16,313	15,890	15,924	16,028	16,693
割 合	20.7%	20.4%	20.6%	21.3%	21.6%	21.6%	22.5%
小 平 市	43,355	42,516	42,295	40,836	39,960	40,555	40,219
割 合	53.1%	53.1%	53.5%	54.7%	54.2%	54.7%	54.2%
東 大 和 市	21,406	21,167	20,457	17,886	17,809	17,554	17,328
割 合	26.2%	26.5%	25.9%	24.0%	24.2%	23.7%	23.3%
合 計	81,709	80,005	79,065	74,613	73,693	74,137	74,240
割 合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

図 11 組織団体別の衛生組合ごみ投入割合の推移

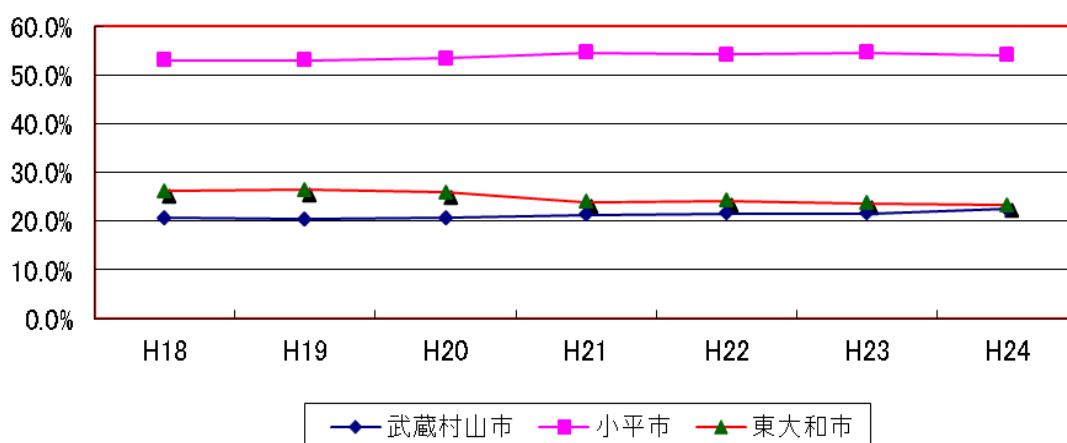
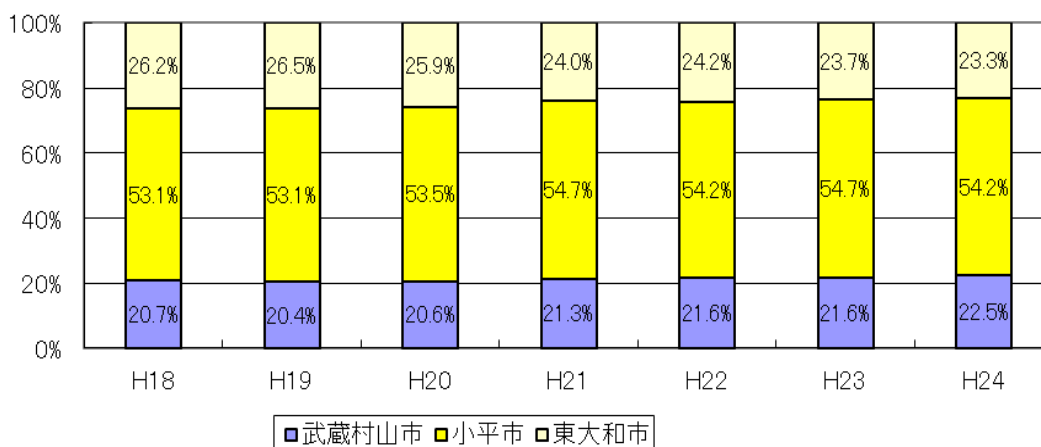


図 12 組織団体別の衛生組合ごみ投入割合の推移



(2) 武蔵村山資源リサイクルセンター

本市は、昭和53年から民間によるリサイクルセンターを開設し、平成3年に移転
拡充し、平成13年には容器包装プラスチック類の分別収集に対応するため、施設
改修を行い現在に至っている。

リサイクルセンターでは、収集されたプラスチック・ペットボトル、びん・有害物、缶・
金属類を受け入れ、施設で選別し、適正な処理を行っている。

表 12 武蔵村山資源リサイクルセンターの概要

区 分	内 容
施 設 名 称	武蔵村山資源リサイクルセンター
所 在 地	武蔵村山市伊奈平2丁目29番地の1
使用開始年月	平成3年10月
改 修 年 月	平成13年11月
設備内容及び 処理能力	選別設備(処理能力20t/日)
	破袋機 (処理能力28t/日)
	磁選機 (処理能力4.97t/日)
	アルミ選別機(処理能力1.19t/日)
	ペットボトル減溶機(処理能力2.1t/日)

写真 1 リサイクルセンター内部の状況

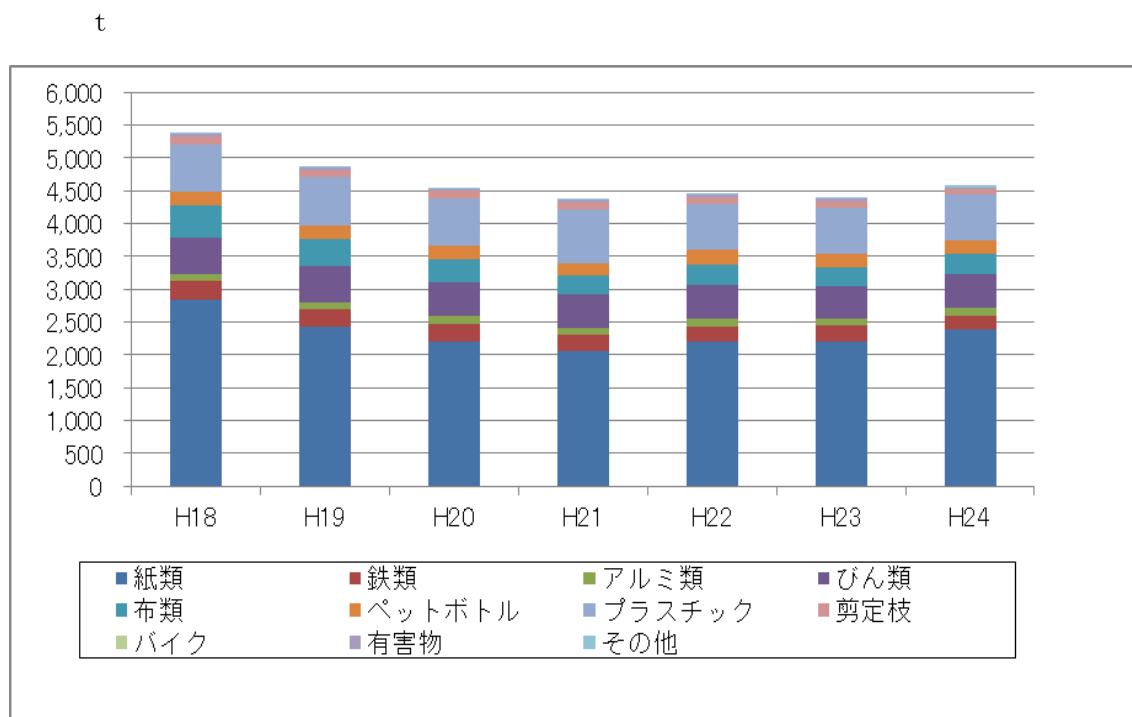


表 13 リサイクルセンターでの資源処理実績の推移

(単位:t)

年 度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
紙類	2,836	2,424	2,209	2,060	2,211	2,212	2,389
鉄類	295	269	268	242	229	229	215
アルミ類	107	116	114	112	116	119	121
びん類	550	536	514	512	518	480	503
布類	498	426	351	280	300	300	306
ペットボトル	193	198	211	190	236	199	209
プラスチック	731	734	711	822	681	706	692
剪定枝	125	117	118	111	114	103	83
バイク	2	2	2	1	0	0	0
有害物	30	32	29	30	29	32	29
その他	27	23	21	24	28	32	42
合 計	5,394	4,877	4,548	4,384	4,462	4,412	4,589

図 13 リサイクルセンターでの資源処理実績の推移



4 最終処分の状況

(1) 東京たま広域資源循環組合

本市は、小平・村山・大和衛生組合で焼却・破砕処理を行い、その焼却灰及び破砕不燃物は、東京たま広域資源循環組合の二ツ塚廃棄物広域処分場(日の出町)に埋立処分をしていた。

平成18年7月からの焼却灰を原料とするエコセメント化施設の稼働により、焼却灰は、エコセメントの原料として再生利用されるようになった。平成24年3月現在、11.2万 m^3 が埋め立てられ廃棄物埋立容量の44.5%に相当する量となっている。

表 14 二ツ塚廃棄物広域処分場の概要

名 称	二ツ塚廃棄物広域処分場
所 在 地	東京都西多摩郡日の出町大字大久野字玉の内
施設規模	用地面積 約59.1ha 開発面積 約33.3ha(埋立地18.4ha、管理施設等14.9ha) 残存緑地面積 約25.8ha
埋立容量	全体埋立容量 約370万 m^3 廃棄物埋立容量 約250万 m^3 覆土容量 約120万 m^3
建設年月	第1期 着工:平成7年度 第2期 着工:平成12年度
埋立期間	当初 平成10年から16年間の予定 エコセメント化後 30年以上延長予定

表 15 エコセメント化施設の概要

名 称	エコセメント化施設
所 在 地	東京都西多摩郡日の出町大字大久野7642番地 (日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場内)
建設年月	着工:平成15年2月 竣工:平成18年7月
処理能力	焼却灰等の処理能力 約300t(日平均)
生産能力	エコセメント生産量 約430t(日平均)
処理対象物	多摩地域25市1町のごみ焼却処理施設から排出される焼却灰及び二ツ塚廃棄物広域処分場に分割埋立された焼却灰等

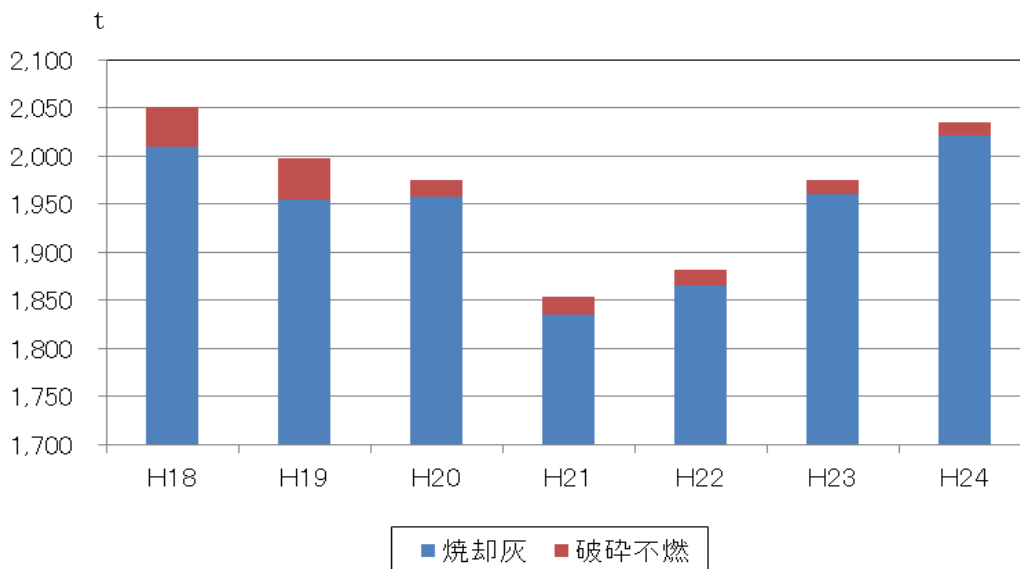
表 16 武蔵村山市の最終処分量の推移

(単位:t)

年 度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
焼 却 灰	2,010	1,955	1,958	1,835	1,865	1,960	2,021
破碎不燃	41	42	17	18	16	15	14
合 計	2,051	1,997	1,975	1,853	1,881	1,975	2,035

※端数調整の関係で合計は一致しない場合もある。

図 14 武蔵村山市の最終処分量の推移



5 ごみ処理費用の状況

(1)ごみ処理費用の推移

本市のごみ処理に要した費用は、表17のように推移している。平成24年度、市民1人当たり14,561円、1世帯当たり35,215円、1トン当たり47,760円となっている。このように、ごみ処理には多額の費用を要している。

表 17 ごみ処理費用の推移

(単位：上段千円・下段円)

年 度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
ごみ 処 理 費 用	1,038,600	1,030,205	1,062,543	1,043,018	1,001,438	1,052,337	1,048,040
1人 当 た り の 費 用	15,094	14,753	15,007	14,617	13,982	14,637	14,561

図 15 ごみ処理費用の推移

